2020/4/27更新（事例写真追加）

　職場レイアウト対策の事例

職場レイアウトの対策は、職場の環境や事情によって異なります。

以下の事例を参考にしながら、メンバーで知恵を出し合って、対策をすすめましょう。

■**目的**　　飛沫、接触感染リスク低減対策として、着席による対面距離を２ｍ確保する

**■事務所レイアウト等の工夫**

・会議室やミーティングブース・作業机を執務スペースに変更する。

そのため、全ての打ち合わせ・会議（事務所フロア内メンバー間含め）を、Teamsで行う。

・着席による距離を２ｍ確保するため、隣一つ席をあけ、対面とならないよう、互い違いの配席にする

・対面距離を２ｍ確保するため、向い合う机と机の間をあける

・対面距離が２ｍ確保できない場合は、対面する机と机の間に透明シートや段ボールなどで仕切りをする

**■具体的な対策**

**＜対策前＞**

・事務所フロアに30人

・会議室やミーティング机を利用

して、打ち合わせ・会議を実施

**＜対策後＞**

・事務所フロアは、作業机やMt机を利用し、隣ひと席あけ、対面に座らず、30人から20人に変更

・対面距離が２ｍないため机の

間をビニールシートで仕切った



・残る10人は、2人は在宅勤務とし、会議室に5人、ミーティングブースに3人移動した

・全ての会議やミーティングを

Teams で実施

**各職場での対策事例（写真のみ紹介）**

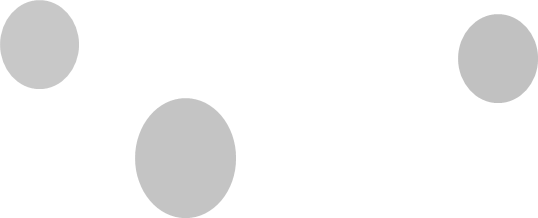
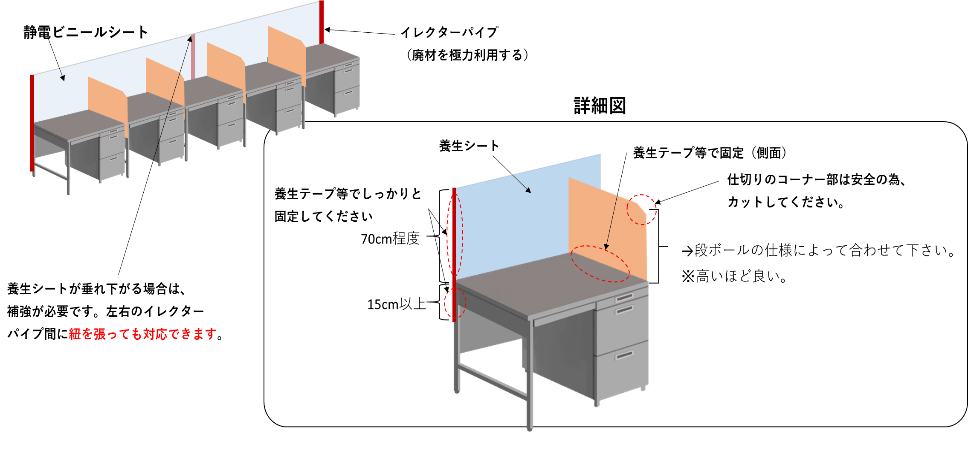
①段ボールを机と机の間に挟む ②ダンプラを机と机の間に挟む



　③段ボール　+　ビニールシートを吊り下げ ④段ボールをテープで固定



⑤段ボール　+　ビニールシート（衝立式）





事務所のソーシャル・ディスタンシング（机間のセパレート）

自由食堂のソーシャル・ディスタンシング